

令和8年9月28日

令和8年第3回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

県土整備局・企業庁

目 次

ページ

I	令和8年台風第25号に伴う大雨への対応	1
II	「令和8年熊本地震」被災地等への支援状況	5
III	令和7年度公共工事等に係る競争入札等の実施結果について.....	8

I 令和8年台風第25号に伴う大雨への対応

1 大雨の状況

本県は、台風第25号の影響により、9月20日から9月21日にかけて記録的な大雨に見舞われた。

三浦の観測地点で24時間降水量が観測史上1位となったほか、県内2地点で9月の観測史上1位を更新した。これは平年の9月の月降水量の約1.5倍に相当する雨量となった。

＜月最大24時間降水量が観測史上1位を更新した箇所＞

三浦	365.5mm（観測史上1位）
横浜市中区	342.0mm（9月の観測史上1位）
藤沢市	249.5mm（9月の観測史上1位）

2 気象警報等の発表状況

- ・ 9月20日20時14分、レベル3大雨警報が横浜市南部に発表（その後、他市町にも順次発表され、計10市町）
- ・ 9月21日13時50分、レベル4大雨危険警報が横浜市南部に発表（その後、他市にも順次発表され、計7市）
- ・ 9月21日7時14分、レベル3土砂災害警報が横須賀市に発表（その後、他市町にも順次発表され、計3市町）
- ・ 9月21日10時5分、レベル4土砂災害危険警報が横須賀市及び三浦市に発表（その後、他市町にも順次発表され、計12市町）
- ・ 9月22日11時25分、県内全ての警報が解除

3 県内の被害状況（9月24日16時00分現在）

(1) 人的被害

死者	4人（横須賀市3人、三浦市1人）
行方不明者	1人（三浦市1人）
重傷	1人（三浦市1人）
軽傷	3人（平塚市1人、座間市1人、葉山町1人）

(2) 建物被害

全壊	3棟（横須賀市1棟、三浦市2棟）
一部破損	4棟（横浜市3棟、横須賀市1棟）
非住家	1棟（逗子市1棟）

4 県の対応

- 9月20日20時14分 県内に大雨警報が発表されたことに伴い、警戒体制に移行
- 9月21日16時30分 神奈川県災害対策本部を設置
- 9月21日17時46分 自衛隊への災害派遣要請
- 9月22日10時00分 県チャーターヘリによる上空からの被災状況把握
場所：横須賀市及び三浦市の捜索活動現場など

5 県土整備局の対応

(1) 配備体制

県土整備局では、9月19日から9月23日までの間に水防体制等として、延べ本庁45名及び土木事務所等162名の合計207名で警戒にあたった。

(2) 所管施設における主な被害（9月25日8時時点）

区 分	被 害 内 容
道路	土砂流入や冠水等があった8路線12箇所で通行止め等の交通規制を行ったが、県道209号（観音崎環状）を除き9月22日までに交通開放済
河川	二級河川下山川（葉山町下山口）において護岸破損

(3) 今後の対応

倒木の撤去等の応急復旧を進めるとともに、今後は、早期の本復旧に向けて取り組んでいく。

6 企業庁の対応

(1) 配備体制

企業庁では、9月20日から9月22日までの間に、延べ本庁16名及び水道営業所等124名の合計140名で警戒にあたった。

(2) 所管施設における被害等

ア 水道関係

被害なし

イ ダム・発電所関係

被害なし

(3) その他

台風第25号が直接の原因ではないが、9月22日に配水管の漏水により大沢配水池（葉山町）の水位が下がったため、職員が対応にあたった。

参考資料 1

県土整備局所管施設の主な被災状況

国道134号（横須賀市林5丁目） 土砂流入による通行止め



被災状況



対応状況

県道209号（観音崎環状）（横須賀市馬堀町4丁目） 倒木等による通行止め



被災状況



対応状況

県道214号（武上宮田）（三浦市初声町高円坊） 土砂流入による通行止め



被災状況



対応状況

Ⅱ 「令和８年熊本地震」被災地等への支援状況

県は、令和８年７月28日に発生した令和８年熊本地震に対応して、被災地への各種支援を実施している。

１ 令和８年熊本地震の状況

(１) 地震の概要

- ア 発生時刻 令和８年７月28日16時27分
- イ 場所 熊本県熊本地方（震源の深さ 16km／暫定値）
- ウ 規模 マグニチュード7.1（暫定値）
- エ 最大震度 ７ 熊本県宇城市、氷川町

(２) 被害の状況（令和８年９月９日12時現在）

- ア 人的被害
 - ・死亡 38人
 - ・重傷 38人
 - ・軽傷 333人
- イ 住家被害
 - ・全壊 2,249棟
 - ・半壊 5,535棟
 - ・一部損壊 36,468棟

２ 本県の対応状況（令和８年９月24日現在）

(１) 人的支援

国や全国知事会等からの要請に応じて、延べ195人の職員等を熊本県へ派遣した。

項目	延べ人数	期間	活動場所
一般事務職員	(※１) 85	8/3～10/1 (予定)	熊本市内
DMA T（災害派遣医療チーム）コーディネーションチーム (健康医療局)	(※２) 26	7/31～8/25	熊本県庁、八代保健所管内 (八代市・氷川町) など ※熊本県保健医療福祉調整本部での活動
かながわD P A T（災害派遣精神医療チーム） (健康医療局)	(※２) 9	8/4～8/11	八代保健所管内（八代市・氷川町） ※熊本県八代地域保健医療福祉D P A T活動拠点本部での活動

保健師等チーム (健康医療局)	60	8/4～9/28 (予定)	八代保健所管内（八代市・氷川町）
応急仮設住宅の整備支援 (県土整備局)	2	9/22～10/6	熊本県庁など
応急給水隊 (企業局)	13	8/4～8/22	宇城市、宇土市内
合 計	195		

※1 うち4人は全国知事会情報連絡員を兼務

※2 補助員も含む。

(2) 県土整備局の対応状況（令和8年9月24日現在）

ア 応急仮設住宅の整備に係る職員の派遣

国からの要請を受け、熊本県に2名の職員（建築職）を派遣し、応急仮設住宅の整備業務の支援を実施している。

イ 公営住宅等の一時提供

神奈川県内に避難を希望される被災者に対し、市町村や県住宅供給公社と協力して公営住宅等の一時提供について入居者募集を実施している。

【入居状況】0件（政令市の市営住宅等を除く）

(3) 企業局の対応状況（令和8年8月22日終了）

ア 応急給水隊の派遣

公益社団法人日本水道協会からの要請を受け、熊本県宇城市及び宇土市に第1次隊から第3次隊合計で13名の職員（事務職・土木職・電気職）を派遣し、応急給水活動を実施した。



（図1 応急給水活動写真①）



(図2 応急給水活動写真②)

3 今後の支援予定

(1) 県土整備局

国及び全国知事会から各都道府県に職員派遣の要請が出されており、今後の派遣についても調整を進めていく。

Ⅲ 令和7年度公共工事等に係る競争入札等の実施結果について

1 公共工事

(1) 概要

本県では、平成18年4月1日から250万円を超える案件は、原則、条件付き一般競争入札とする新たな入札制度「かながわ方式」を導入し、併せて、優良工事施工業者、社会貢献企業を対象とした条件付き一般競争入札におけるインセンティブ発注を導入した。

さらに、平成26年度から、県土整備局において、250万円を超える案件で、いのち貢献度指名競争入札制度を導入し、平成27年度から、実施範囲を全庁に拡大した。

また、令和7年度に、随意契約可能額の見直しが行われたことに伴い、入札の適用範囲を、400万円を超える案件に変更した。

(2) 落札率等の状況

ア 県土整備局

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較
条件付き 一般競争入札	件 744	件 △29	% 93.5	P △0.1	者 8.3	者 0	件 49	件 △6
うち インセン ティブ発注	304 (37.3%)	△8	93.6	△0.2	9.5	△0.5	8	△1
いのち貢献度 指名競争入札	71 (8.7%)	9	93.4	0.3	8.3	0.4	2	△2
合計	815	△20	93.5	△0.1	8.3	0	51	△8
うち インセン ティブ発注・ いのち指名	375 (46.0%)	1	93.6	△0.1	9.3	△0.3	10	△3

※小数点第2位を四捨五入

※他部局からの依頼工事を含む。

※（ ）は合計件数に対する割合

イ 企業庁

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較
条件付き 一般競争入札	件 372	件 △31	% 94.7	P △0.3	者 6.9	者 0.6	件 20	件 △20
うち インセン ティブ発注	88 (20.6%)	4	94.6	△0.9	6.5	0.4	2	△2
いのち貢献度 指名競争入札	56 (13.1%)	△4	95.5	△0.4	6.9	△0.1	4	3
合計	428	△35	94.8	△0.3	6.9	0.5	24	△17
うち インセン ティブ発注・ いのち指名	144 (33.6%)	0	94.9	△0.8	6.7	0.3	6	1

※小数点第2位を四捨五入

※（ ）は合計件数に対する割合

2 工事系委託

(1) 概要

本県では、平成21年4月1日から1千万円以上の案件に、条件付き一般競争入札を導入し、同年10月1日から、条件付き一般競争入札の適用範囲を、250万円を超える案件まで拡大した。

さらに、平成26年度から、県土整備局において、250万円を超える案件で、いのち貢献度指名競争入札制度を導入し、平成27年度から、実施範囲を全庁に拡大した。

また、令和7年度に、随意契約可能額の見直しが行われたことに伴い、公共工事の入札適用金額に合わせ工事系委託についても、条件付き一般競争入札及びいのち貢献度指名競争入札の適用範囲を、400万円を超える案件に変更した。

(2) 落札率等の状況

ア 県土整備局

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較
条件付き 一般競争 入札	件 594	件 △109	% 83.6	P 0.6	者 11.6	者 0.6	件 18	件 △11
いのち貢 献度指名 競争入札	119	△3	83.1	△0.2	11.4	0.7	1	1
指名競争 入札	51	△11	87.2	△1.2	7.7	0.1	4	4
合計	764	△123	83.8	0.3	11.3	0.5	23	△6

※小数点第2位を四捨五入

※他部局からの依頼工事を含む。

※清掃請負（庁舎外）等を除く。

イ 企業庁

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較		前年度 比較
条件付き 一般競争 入札	件 70	件 14	% 85.1	P △0.5	者 11.0	者 2.9	件 3	件 △2
いのち貢 献度指名 競争入札	9	0	82.1	0.1	7.9	0.1	0	0
指名競争 入札	6	3	83.9	△4.3	15.8	0.5	0	0
合計	85	17	84.7	△0.6	11.0	2.6	3	△2

※小数点第2位を四捨五入

※清掃請負（庁舎外）等を除く。

3 今後の対応

今後も、「いのち貢献度指名競争入札」及び「インセンティブ発注」の発注件数の確保に努めていく。

令和 7 年度 競争入札の実施結果 集計表

【 工 事 】

1 落札率等の状況

(1) 県土整備局

区分	令和 7 年度				令和 6 年度				平均最低 制限価格 率の比較 G=A-D	平均落札 率の比較 H=B-E
	件数	平均 最低制限 価格率 A	平均 落札率 B	C=B-A	件数	平均 最低制限 価格率 D	平均 落札率 E	F=E-D		
一般競争	744	92.8	93.5	0.7	773	92.8	93.6	0.8	0.0	△ 0.1
うち インセン ティブ発注	304 (37.3%)	92.4	93.6	1.2	312 (37.4%)	92.4	93.8	1.4	0.0	△ 0.2
いのち 指名	71 (8.7%)	92.2	93.4	1.2	62 (7.4%)	92.3	93.1	0.8	△ 0.1	0.3
合計	815	92.7	93.5	0.8	835	92.8	93.6	0.8	△ 0.1	△ 0.1
うち インセン ティブ発 注・いの ち指名	375 (46.0%)	92.4	93.6	1.2	374 (44.8%)	92.4	93.7	1.3	0.0	△ 0.1

※ () は合計件数に対する割合

(2) 企業庁

区分	令和 7 年度				令和 6 年度				平均最低 制限価格 率の比較 G=A-D	平均落札 率の比較 H=B-E
	件数	平均 最低制限 価格率 A	平均 落札率 B	C=B-A	件数	平均 最低制限 価格率 D	平均 落札率 E	F=E-D		
一般競争	372	92.7	94.7	2.0	403	92.8	95.0	2.2	△ 0.1	△ 0.3
うち インセン ティブ発注	88 (20.6%)	91.7	94.6	2.9	84 (18.1%)	91.7	95.5	3.8	0.0	△ 0.9
いのち 指名	56 (13.1%)	91.7	95.5	3.8	60 (13.0%)	91.9	95.9	4.0	△ 0.2	△ 0.4
合計	428	92.6	94.8	2.2	463	92.7	95.1	2.4	△ 0.1	△ 0.3
うち インセン ティブ発 注・いの ち指名	144 (33.6%)	91.7	94.9	3.2	144 (31.1%)	91.8	95.7	3.9	△ 0.1	△ 0.8

※ () は合計件数に対する割合

2 応札等の状況

(1) 県土整備局

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	令和7年度			令和6年度			平均応札 者数の比較 K=I-J	令和7年度			令和6年度			不成立件 数の比較 N=L-M
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計L	不調	応札 なし	計M	
	最高	最低	平均I	最高	最低	平均J								
一般競争	者 33	者 1	者 8.3	者 30	者 1	者 8.3	者 0.0	件 28	件 21	件 49	件 26	件 29	件 55	件 △ 6
うち インセン ティブ発注	28	1	9.5	28	1	10.0	△ 0.5	4	4	8	3	6	9	△ 1
いのち 指名	14	2	8.3	13	2	7.9	0.4	1	1	2	1	3	4	△ 2
合計	33	1	8.3	30	1	8.3	0.0	29	22	51	27	32	59	△ 8
うち インセン ティブ発注・いの ち指名	28	1	9.3	28	1	9.6	△ 0.3	5	5	10	4	9	13	△ 3

※応札者数の最高、最低の合計欄は、全ての入札の中での最高、最低の応札者数を記載

(2) 企業庁

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	令和 7 年度			令和 6 年度			平均応札 者数の比 較 K=I-J	令和 7 年度			令和 6 年度			不成立件 数の比較 N=L-M
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計L	不調	応札 なし	計M	
	最高	最低	平均I	最高	最低	平均J								
一般競争	者 43	者 1	者 6.9	者 43	者 1	者 6.3	者 0.6	件 15	件 5	件 20	件 12	件 28	件 40	件 △ 20
うち インセン ティブ発注	15	1	6.5	18	1	6.1	0.4	0	2	2	0	4	4	△ 2
いのち 指名	15	2	6.9	16	2	7.0	△ 0.1	1	3	4	0	1	1	3
合計	43	1	6.9	43	1	6.4	0.5	16	8	24	12	29	41	△ 17
うち インセンティ ブ発注・いの ち指名	15	1	6.7	18	1	6.4	0.3	1	5	6	0	5	5	1

※応札者数の最高、最低の合計欄は、全ての入札の中での最高、最低の応札者数を記載

【 工事系委託 】

1 落札率等の状況

(1) 県土整備局

区分	令和7年度				令和6年度				平均最低 制限価格 率の比較 U=0-R	平均落札 率の比較 V=P-S
	件数	平均 最低制限 価格率 0	平均 落札率 P	Q=P-0	件数	平均 最低制限 価格率 R	平均 落札率 S	T=S-R		
一般競争	594	83.0	83.6	0.6	703	82.2	83.0	0.8	0.8	0.6
いのち 指名	119	82.4	83.1	0.7	122	82.2	83.3	1.1	0.2	△ 0.2
指名 競争	51	82.3	87.2	4.9	62	81.1	88.4	7.3	1.2	△ 1.2
合計	764	82.8	83.8	1.0	887	82.1	83.5	1.4	0.7	0.3

(2) 企業庁

区分	令和7年度				令和6年度				平均最低 制限価格 率の比較 U=0-R	平均落札 率の比較 V=P-S
	件数	平均 最低制限 価格率 0	平均 落札率 P	Q=P-0	件数	平均 最低制限 価格率 R	平均 落札率 S	T=S-R		
一般競争	70	82.5	85.1	2.6	56	82.1	85.6	3.5	0.4	△ 0.5
いのち 指名	9	82.0	82.1	0.1	9	82.0	82.0	0.0	0.0	0.1
指名 競争	6	82.0	83.9	1.9	3	82.0	88.2	6.2	0.0	△ 4.3
合計	85	82.4	84.7	2.3	68	82.1	85.3	3.2	0.3	△ 0.6

2 応札等の状況

(1) 県土整備局

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	令和 7 年度			令和 6 年度			平均応札者 数の比較 Y=W-X	令和 7 年度			令和 6 年度			不成立 件数の 比較 b=Z-a
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計Z	不調	応札 なし	計a	
	最高	最低	平均W	最高	最低	平均X								
一 般 競 争	者	者	者	者	者	者	者	件	件	件	件	件	件	件
	42	1	11.6	45	1	11	0.6	6	12	18	10	19	29	△ 11
いのち 指名	38	2	11.4	36	2	10.7	0.7	1	0	1	0	0	0	1
指 名 競 争	15	4	7.7	13	3	7.6	0.1	1	3	4	0	0	0	4
合計	42	1	11.3	45	1	10.8	0.5	8	15	23	10	19	29	△ 6

※応札者数の最高、最低の合計欄は、全ての入札の中での最高、最低の応札者数を記載

(2) 企業庁

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	令和 7 年度			令和 6 年度			平均応札者 数の比較 Y=W-X	令和 7 年度			令和 6 年度			不成立 件数の 比較 b=Z-a
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計Z	不調	応札 なし	計a	
	最高	最低	平均W	最高	最低	平均X								
一 般 競 争	者	者	者	者	者	者	者	件	件	件	件	件	件	件
	35	1	11.0	24	1	8.1	2.9	2	1	3	1	4	5	△ 2
いのち 指名	24	4	7.9	21	2	7.8	0.1	0	0	0	0	0	0	0
指 名 競 争	17	14	15.8	17	14	15.3	0.5	0	0	0	0	0	0	0
合 計	35	1	11.0	24	1	8.4	2.6	2	1	3	1	4	5	△ 2

※小数点第2位を四捨五入

※県土整備局には、他部局からの依頼工事を含む。

※工事系委託は清掃請負（庁舎外）等を除く。

※2(1)(2)の応札者数の最高、最低の合計欄は、全ての入札の中での最高、最低の応札者数を記載

参考資料 3

本県の主な入札制度

令和 7 年 5 月 19 日適用

区分	条件付き一般競争入札	条件付き一般競争入札における インセンティブ発注	いのち貢献度指名競争入札
目的	公平性に優れ、適正な価格競争で品質の確保を図る	経営力と技術力に優れた建設業者や社会貢献企業を評価し、地域の建設業者の健全育成を図る	○県民の「いのち」を守る担い手となる地域の建設業者等の中長期的に育成・確保する ○地域の安全・安心を確保するため必要な工事及び工事系委託を早期に実施する
適用範囲	〔工事〕 400万円超27.2億円未満 〔工事系委託〕 400万円超2.7億円未満	〔工事〕 400万円超 2 億円未満	工事・工事系委託ともに400万円超 2 億円未満
	工事・工事系委託全般	社会貢献企業、優良工事施工業者を対象とした工事	〔工事〕 ・特に地域貢献度の高い社会貢献企業、優良工事施工業者を対象とした工事 ・災害復旧に係る復旧工事 ・その他早期に着手が必要な工事 等 〔工事系委託〕 ・見積公募を行い、見積書提出者を対象とした委託 ・災害対応工事等の緊急を要する委託 ・その他早期に着手が必要な委託 等

※ 200万円超から400万円以下の工事系委託については、いのち貢献度指名競争入札以外の指名競争入札を実施

※ 財務規則の改正に伴い、令和 7 年 4 月中旬以降、随意契約によることができる予定価格の額を工事400万円以下、工事系委託200万円以下に引上げ

(参考)

本県の主な入札制度（旧基準）

区分	条件付き一般競争入札	条件付き一般競争入札における インセンティブ発注	いのち貢献度指名競争入札
目的	公平性に優れ、適正な価格競争で品質の確保を図る	経営力と技術力に優れた建設業者や社会貢献企業を評価し、地域の建設業者の健全育成を図る	○県民の「いのち」を守る担い手となる地域の建設業者等の中長期的に育成・確保する ○地域の安全・安心を確保するため必要な工事及び工事系委託を早期に実施する
適用範囲	〔工事〕 250万円超27.2億円未満 〔工事系委託〕 250万円超2.7億円未満	〔工事〕 250万円超 2 億円未満	工事・工事系委託ともに250万円超 2 億円未満
	工事・工事系委託全般	社会貢献企業、優良工事施工業者を対象とした工事	〔工事〕 ・特に地域貢献度の高い社会貢献企業、優良工事施工業者を対象とした工事 ・災害復旧に係る復旧工事 ・その他早期に着手が必要な工事 等 〔工事系委託〕 ・見積公募を行い、見積書提出者を対象とした委託 ・災害対応工事等の緊急を要する委託 ・その他早期に着手が必要な委託 等

※ 100万円超から250万円以下の工事系委託については、いのち貢献度指名競争入札以外の指名競争入札を実施

※ 財務規則の改正に伴い、令和 5 年度からインセンティブ発注及びいのち貢献度指名競争入札の適用範囲を、1.5億円未満から 2 億円未満に引上げ